

平成26年度事業報告書及び事業報告の附属明細書について

I 概要

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、地域緑化活動を通じたネットワークの強化を図りながら、県民、企業等からの寄附金の拡充に努めるとともに緑地保全や県民参加の森林づくり事業の強化を基本方針として各事業については次のとおり取り組んだ。

- 普及啓発事業では、WEBサイト、機関誌「ミドリ」による情報提供のほか自然観察会の実施等を通じ、積極的にかながわのナショナル・トラスト運動等の普及啓発を行った。
また、昨夏、一般利用を開始した小網代の森においてオープニングイベントとして「トラスト緑地の音楽会@小網代の森」を開催したほか、市民団体と連携し会員拡大に努めた。
- 地域緑化活動事業では、地区推進協議会主催による各事業や市町村等主催のイベントへの参加等でかながわのナショナル・トラスト運動の普及啓発を行うとともに、みどりの実践団体の育成、樹木配布による地域の緑化推進に努めた。
- 緑地保全事業では、保存契約緑地の拡大、県内各市町村が行う緑地等指定事業への助成及び保存契約緑地における剪定、草刈り等の緑地管理を実施した。
- 県民参加の森林づくり事業では、森林ボランティア活動の推進、森林インストラクターの養成、成長の森の造成、新たな活動フィールドの準備等により、県民の森林づくりへの参加促進に努めた。
- 緑の募金事業では、教育機関、市町村等と連携して緑の募金を推進するとともに、学校や地域の緑化活動の支援、緑化運動・育樹運動コンクール及び緑の少年団の活動支援を実施した。

II 事業の実施状況

1 普及啓発事業

(1) 広報普及活動

みどりを守り育てる運動を県民や企業等に周知し、会員登録、基金への募金、運動への参加を促進するために市民祭り等での街頭キャンペーン、ホームページや地域情報誌等による広報、自然観察会等を行った。

ア イベントでの普及啓発活動

(ア) 伊勢原公園緑花まつり

開催日 平成26年5月10日(土)、11日(日)

場所 伊勢原市総合運動公園

(イ) 藤沢市民まつり

開催日 平成26年9月27日(土)、28日(日)

場所 藤沢駅コンコース

(ウ) フラワーフェスティバルおおふな

開催日 平成26年11月2日(日)、3日(月・祝)

場所 フラワーセンター大船植物園

(エ) トラスト緑地の音楽会

開催日 平成26年7月19日(土)

場所 小網代の森緑地(三浦市三崎)

(オ) SATOYAMA& SATOUMIへ行こう!

開催日 平成27年3月28日(土)、29日(日)

場 所 パシフィコ横浜

イ 機関誌ミドリの発行

機関誌ミドリを4回発行し、会員や県、市町村、県立公園、博物館等に配布して県民のみどりに対する理解増進を図った。

号	発行	発行部数	主な内容
93(夏)	26年 7月	10,000部	小網代の森のオープニング記念とアカテガニの生態、ヤマセミウォッチングなど
94(秋)	26年10月	10,000部	小網代の森の紹介、日本の寄付の現状と課題、鎌倉風致保存会50年あゆみなど
95(冬)	26年12月	10,000部	無花粉ヒノキの発見と無花粉スギの広がり、森林、緑地ボランティアに参加しようなど
96(春)	27年 3月	10,000部	英国ザ・ナショナル・トラストの今、相続財産の寄付や遺贈など

ウ かながわのナショナル・トラスト運動のPR

トラスト運動リーフレットや啓発用物品を作成し、市民団体、企業及びイベント等で配布した。

- ・入会申込書付きリーフレット 70,000部
- ・かながわトラストみどり基金リーフレット 13,000部
- ・新聞折込 300,000部
- ・小網代の森特集号 10,000部

エ インターネットによる情報提供

緑地保全、ボランティア育成など財団事業をWEBサイトでわかりやすく紹介し、財団の活動への参加を呼びかけた。

オ 自然観察会等の開催

(ア) 古都鎌倉 緑と歴史の自然探訪 ((公財) 鎌倉風致保存会との共催)

開催日 平成26年4月19日(土)

場 所 光明寺

参加者 36名

内 容 中世都市鎌倉の国史跡の歴史と自然の学習

(イ) みどりのがっこう (ユーコープかながわとの共催)

開催日 平成26年8月2日(土) ほか2回

場 所 葉山しおさい博物館ほか

参加者 計112名

内 容 動植物の自然観察

(ウ) 自然観察会

開催日 平成26年4月26日(土) ほか4回

場 所 弘法山ほか

参加者 計125名

内 容 都市公園や森林、トラスト緑地の植物、樹木、地質、野鳥の見学

(エ) 森林探訪 (NPO法人かながわ森林インストラクターの会との共催)

開催日 平成26年5月17日(土)ほか1回

場 所 三廻部林道ほか

参加者 計93名

内 容 里山林、水源林等の自然観察

(オ) ウォーキング

開催日 平成26年10月25日(土)ほか1回

場 所 川崎周辺都県境ほか

参加者 計63名

内 容 都県境の史跡と自然を巡る、鎌倉3大緑地を散策する10kmのウォーク

(カ) かながわの自然と食を味わう会

開催日 平成26年4月19日(土)ほか1回

場 所 久田緑地ほか

参加者 計48名

内 容 竹の子掘りで竹林整備、梅ひろい体験と梅ジャム作り

(キ) 小網代の森緑地での自然体験教室

開催日 平成26年11月16日(日)

場 所 小網代の森緑地

参加者 16名

内 容 緑地内でのカメラ講習会

(ク) トラスト緑地講座

開催日 平成26年9月20日(土)

場 所 桜ヶ丘緑地

参加者 44名

内 容 緑地に眠る麦酒工業遺産講座

カ 関係団体との共催及び委託事業の実施

(ア) 関係団体と共催

(公財)鎌倉風致保存会、ユーコープかながわ、NPO法人かながわ森林インストラクターの会と自然観察会等を共催した。

(イ) 委託事業の実施

NPO法人小網代野外活動調整会議、小網代の森「ひげ爺の栖」に当財団の普及啓発及び会員募集を委託した。

キ トラスト運動事務電算システム等の管理

会員、イベント参加者等、顧客情報のセキュリティー対策や入力様式の改善を行い、データの安全性の強化と操作性の向上を図り、トラスト運動の促進に活用した。

ク 大学生の自然環境保全活動への支援

みどりを守り育てる活動を行う大学のサークル等を支援するため、活動費を助成した。

交付先 東京農業大学「ボランティア部」 助成額 100,000円

和光大学「かわ道楽」 助成額 100,000円

ケ かながわトラストみどり財団サポーター制度の活用

財団の事業運営を支援するサポーターを追加登録し、自然観察会及び郵送事務に活用した。

登録人数 64名

活用回数 梅もぎ体験と梅ジャム作り(6月24日開催)ほか10回

コ 会員数

[]は内、トラスト緑地保全支援会員数

会員種別		平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末
普通 会 員	個人会員	12,258名 [338名]	12,139名 [375名]	3,809名 [462名]
	家族会員	21,765名 [358名]	21,325名 [438名]	6,946名 [595名]
	グループ会員	3,265名	3,265名	—
	団体会員	432名 [12名]	437名 [16名]	250名 [17名]
特別会員		328名	325名	318名
名誉会員		6名	6名	5名
会員数		38,054名 [708名]	37,497名 [829名]	11,328名 [1,074名]
(内、過去1年間に会費 の納入があった会員数)		(10,064名) (26.4%)	(9,803名) (26.1%)	(10,088名) (89.1%)

※ 会員規則第8条第2号により「会費を引き続き2年以上納入しないとき。」は会員資格の喪失が規定されており、平成26年度は、同条に該当する会員の整理作業を行った結果、平成26年度末現在の会員数は、上記のとおりとなった。

(2) 緑化協力金制度の運営

49箇所（うち1箇所停止中）の協力駐車場のうち当財団では片瀬海岸（地下）や県民ホールなど28箇所の駐車場の緑化協力金を集結し、県のトラスト基金への積み立てを行った。なお、循環器呼吸器病センターほか2箇所において、駐車場機器の緑化協力金対応費用を負担した。また、緑化協力金制度への理解を得るため啓発資料を作成して配布した。

2 地域緑化活動事業

地域緑化を推進するため、みどりの実践団体を発掘するとともに、みどりの実践団体が行う緑化活動を支援するため樹木の配布及び研修会等を開催した。また、市町村、関係団体等の協力を得て、各地区推進協議会の地域特性を活かした事業を実施した。

(1) みどりの実践団体の育成

地域におけるみどりの愛護と創造を実践する団体に対し奨励金を交付した。

初年度奨励金17団体、2年度奨励金13団体

また、三浦半島地区、県央地区、湘南地区、足柄上地区、西湘地区の5つの地区推進協議会を2組に分け、合同での研修・交流会を開催し、地域を超えた交流を推進するとともに育成を支援した。

ア 三浦半島地区推進協議会及び湘南地区推進協議会

研修・交流会

開催日 平成26年10月16日（木）

場 所 県立茅ヶ崎里山公園

参加者 54名

イ 県央地区推進協議会、足柄上地区推進協議会及び西湘地区推進協議会

研修・交流会

開催日 平成26年10月21日（火）

場 所 県立茅ヶ崎里山公園

参加者 58名

(2) 樹木の配布

みどりの実践団体に樹木を配布することで、地域の緑化を推進した。

- ア 横浜地区みどりの実践団体 21団体
オオムラサキツツジほか15種 1,746本
- イ 川崎地区みどりの実践団体 9団体
サツキほか12種 431本
- ウ 三浦半島地区みどりの実践団体 8団体
コナラほか13種 306本
- エ 県央地区みどりの実践団体 9団体
ドウダンツツジほか9種 411本
- オ 湘南地区みどりの実践団体 9団体
ミツバツツジほか9種 582本
- カ 足柄上地区みどりの実践団体 5団体
ヤマザクラほか12種 587本
- キ 西湘地区みどりの実践団体 7団体
ヤマボウシほか5種 343本

(3) 地域活動の育成

県民参加による緑化推進、かながわのナショナル・トラスト運動の普及啓発、会員の拡大等を推進するため各地区において次のとおり事業を実施した。

ア 三浦半島地区推進協議会

(ア) 企画広報部会

開催日 平成26年8月26日(火)、平成27年1月28日(水)

場 所 逗子文化プラザ市民交流センター

(イ) 自然観察会「春の棚田(葉山・上山口)と神社仏閣を訪ねて」(財団本部共催)

開催日 平成26年6月4日(水)

場 所 葉山町

参加者 23名

(ウ) 「かまくらと三浦半島～街角にみどりと花のある風景～」改訂版の作成発行

3,000部

イ 県央地区推進協議会

緑の書道コンクール

対 象 県央地区小・中学校(参加90校)

応募数 9,142点(入選 187点)

審査会 平成26年10月14日(火)

表彰式 平成26年12月7日(日)

展示会 あつぎロードギャラリーほか6箇所(平成26年12月～27年2月)

ウ 湘南地区推進協議会

湘南グリーンコネクション2014

開催日 平成26年11月11日(火)

会 場 大磯町立福祉センター「さざれ石」

参加者 62名

エ 足柄上地区推進協議会

あしがらグリーンウォーキング

開催日 平成27年1月31日(土)

場所 小田原一夜城

参加者 25名

オ 西湘地区推進協議会

園芸講習会

開催日 平成26年12月13日(土)

場所 小田原フラワーガーデン

参加者 22名

カ 地区会報の発行

かながわのナショナル・トラスト運動の紹介、会員募集及び各地区の事業を題材に5つの地区推進協議会の活動等を掲載した「かながわグリーンサポーターズ」を作成発行し、地域の緑化運動を推進した。

発行時期 平成27年3月24日(火)

発行部数 2,500部

(4) 相模原地域緑化事業

相模原地域については、当財団と同様の活動を行っている(公財)相模原市まち・みどり公社にみどりの実践団体の育成、小中学生を対象とした書道コンクールの開催や地域の緑化推進等の業務を委託した。

3 緑地保全事業

緑地所有者と緑地保存契約を締結して、緑地の適正な維持管理に努めるとともに市町村の緑地等指定事業への助成を行った。

(1) 緑地保存契約

6箇所の緑地について、緑地所有者と保存契約を締結した。なお、葛葉緑地と小網代の森緑地の保存契約面積については、2箇所の計で対前年度比18,333㎡の増を図り積極的に保全に取り組んだ。

緑地名	緑地総面積 (㎡)	保存契約 対象面積 (A) (㎡)	保存契約 面積 (B) (㎡)	契約率 (B/A) (%)	契約 期間 (年)	年間賃借料 (円)
葛葉緑地 (秦野市)	153,123.95	78,545.84	57,948.84	73.8	10	2,932,384
久田緑地 (大和市)	100,036.00	82,043.00	70,500.00	85.9	10	5,076,720
泉の森緑地 (大和市)	80,052.31	40,516.46	27,597.38	68.1	10	3,513,754
川名緑地 (藤沢市)	78,943.00	21,745.00	2,303.00	10.6	10	42,894
大崎緑地 (逗子市)	70,936.70	54,177.70	17,544.70	32.4	10	1,438,665
小網代の森緑地 (三浦市)	574,500.00	104,007.00	104,007.00	100.0	10	57,399
6緑地 計	1,057,591.96	381,035.00	279,900.92	73.5	—	13,061,816

(2) 保存契約緑地等の維持管理

葛葉緑地(秦野市)、久田緑地(大和市)及び小網代の森緑地(三浦市)の自然環境の保

全のため、樹木の剪定や伐採など適正な管理に努めた。

(3) 市町村の緑地等指定事業への助成

市が緑地所有者との契約により緑地保全を図る事業に助成した。

市町村	緑地等指定面積	実績額	助成金交付額	助成率
横浜市他13市	1,540,663.86㎡	83,966,858円	20,000,000円	23.82%

(4) 緑地保全コーディネート

ア 保全活動の調整

小網代の森緑地について、財団、県、有識者、保全活動団体等で構成する小網代の森保全利活用対策協議会を開催して小網代の森の利用、保全対策、管理活動等について協議した。

開催日 平成26年6月12日(木)ほか1回

会場 かながわ県民センター

イ 自主的な保全活動への助成

3つのモデル緑地において、自主的に保全活動にあたる3団体に対してトラスト緑地保全支援事業として活動費の一部を助成した。

・小網代の森緑地(NPO法人小網代野外活動調整会議)

水棲生物の調査など自然回復のモニタリングを継続して実施し、大規模な湿地環境再生事業や外来植物除去作業に取り組んだ。

・久田緑地(久田緑地くらぶ)

竹林の定期的な伐採や落ち葉かきなど里山の維持管理活動に取り組んだ。

・桜ヶ丘緑地(桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト)

水辺の環境の維持管理作業を地元小学校と取り組むなど、地域連携による環境保全活動に取り組んだ。

ウ 小網代の森「アカテガニ放仔観察エコツアー」

小網代の森の木道等施設完成及び公開を記念して、アカテガニ放仔観察会を開催した。

開催日 平成26年7月26日(土)

4 県民参加の森林づくり事業

(1) ボランティア活動の推進

県民参加による豊かな森林づくりを推進するため、多様な森林づくりボランティア活動の機会の提供、初心者の方の森林づくり体験や小・中・高校生の森林体験学習等の支援を行った。

ア 活動実績

区分	活動内容	回数	面積(ha)	延人員(人)
県民参加の森林づくり活動	植栽、下刈り、枝打ち、間伐、竹林整備	17	52.75	1,327
小・中・高校生の森林学習等支援	森林学習、自然観察、森林作業	45	—	4,494
計		62	52.75	5,821

イ ボランティア交流会

県内各地の森林、里山、緑地等で緑のボランティア活動を行っている団体を対象に活動技術の向上を促すため技術講習会、活動内容の発表及び情報交換を行う交流会を開催した。

開催日 平成26年7月31日(木)ほか1回

開催場所 足柄上合同庁舎ほか

参加者 計87名

(2) 森林インストラクター活動

県民の森林への理解を深めるための普及啓発やボランティア活動等の円滑な推進を図るため、森林インストラクターの育成及びボランティア活動への森林インストラクター派遣の支援等を行った。

ア 森林インストラクターの派遣

県内の各種団体等が実施する森林づくり活動や自然観察会等に神奈川県森林インストラクターを派遣した。

派遣回数 84回 参加人数計 4,498名

イ 森林インストラクター派遣調整事務の委託

財団主催のボランティア活動推進事業と前記森林インストラクター派遣に係る森林インストラクターの人選、調整、派遣等をNPO法人かながわ森林インストラクターの会に委託した。

調整回数 148回 派遣人数計 977名

ウ 森林インストラクターブラッシュアップ研修

神奈川県森林インストラクターを対象に指導者としての資質の向上を図るため、救命救急手法、森林作業方法と安全管理等に関する研修を実施した。

講座回数 4回 受講者数計 133名

エ 森林インストラクターの養成

子ども達の森林体験学習や県民の森林づくり活動の多様化に対応した指導者を養成するため、第14期神奈川県森林インストラクター養成講座(第1年次)を開講した。

講座日数 14日(開講期間 平成26年8月~平成27年3月) 受講者 33名

(3) 森林づくり普及啓発

県民の森林への理解を深め、森林づくりへの参加を促進するため、普及啓発活動を行った。

ア 森林づくり日程表の作成

森林づくりへの参加を促進するため森林づくり活動日程表を作成し、配布した。

日程表の作成数 20,000部 配布先 既参加者、行政機関、企業等

イ やどりき水源林の案内

県民に水源の森林づくりへの理解を深めるため、「水源かん養機能の高い見本林」として整備している「やどりき水源林」に毎週土曜日と日曜日(12月から2月を除く。)に「森の案内人」を配置し、水源の森林づくりの解説や森林の案内を行った。

配置場所 やどりき水源林(松田町寄)

配置人員 延べ222名

ウ 成長の森の造成

赤ちゃんが誕生した家族から神奈川県産無花粉スギの苗木の寄附を受け、県と財団が連携して県立21世紀の森で森林づくりを行った。現地で植樹会を開催し、子どもの健やかな成長と苗木の成長を実感できる機会を提供し、かながわの森林への理解増進を図った。

苗木寄附 165家族、207名

植樹会 平成27年3月14日(土)

エ 街頭キャンペーン

県民の参加と協働を一層高め、水源環境保全再生への取組を促進するため、森林に親しむ機会の少ない都市部の県民に向け、水を育む森林の大切さ等について普及啓発活動を行った。

開催日 平成26年5月31日～11月3日（延べ6日）
場 所 臨港パーク（第33回横浜開港祭会場）ほか1箇所
参加者 1,797名（アンケート回収人数）
内 容 水源林紙芝居、クイズ、水源涵養の実験、丸太切り体験コーナー、木工教室、リーフレットの配布、募金活動

オ 水源林の集いの開催等

県、森林関係団体等で構成する「県民との協働による森林づくり実行委員会」の事務局として水源林の集い、新定着型ボランティア事業を実施した。

（ア）水源林の集い

開催日 平成26年8月16日（土）
場 所 やどりき水源林（松田町寄）
参加者 485名
内 容 水源林トレッキング、水生生物観察、森のコンサート、森林交流会等

（イ）新定着型ボランティア事業

場 所 やどりき水源林、魚止めの森、煤ヶ谷水源林、ヤビツの森
団体数 19団体
内 容 県所有の水源林の一定エリアについて、自主的に森林づくり活動を行う団体に対し支援を行った。

カ インターネットによる情報提供

最新の森林・林業の状況や森林づくりボランティア活動など多様な情報をインターネットを利用して、広く県民・団体などへ提供した。

（4）県民運動推進人材確保

県民運動実施に係る事務費等や県民参加の森林づくりを着実に推進するため職員を配置し、森林の機能や大切さ等に関する普及啓発活動やボランティア活動の企画及び関係機関との連絡調整等を行った。

配置人員 6名（常勤）

（5）ポスト植樹祭事業

第61回全国植樹祭の開催理念を伝え広げるため、緑の祭典、森へ行こう、ジュニアフォレスター教室等を開催した。

ア 緑の祭典

開催日 平成26年10月26日（日）
場 所 川崎市多摩区枳形「生田緑地」
内 容 お手播き苗木植樹式、市民100万本植樹
参加者 321名

イ 森へ行こう（県民参加の森林づくり活動と併催）

開催日 平成26年5月25日（日）
場 所 南足柄市塚原
内 容 除伐、枝打
参加者 80名

ウ ジュニアフォレスター教室

開催日 平成26年6月29日（日）ほか3日
場 所 南足柄市丸太の森ほか
内 容 森や川の探検や自然観察、キャンプ、林業体験等
参加者 延べ240名

エ 植樹祭会場市町が実施するポスト植樹祭事業の支援

開催日 平成26年5月25日（日）ほか3回
 場 所 秦野市、南足柄市、小田原市
 内 容 植樹等
 参加者 計332名

5 緑の募金事業

(1) 緑の募金活動

ア 会議の開催

(ア) 第6回緑の募金運営協議会

開催日 平成26年5月13日（火）

場 所 波止場会館

主な議案 平成25年度事業報告及び収支決算

(イ) 第7回緑の募金運営協議会

開催日 平成27年2月27日（金）

場 所 波止場会館

主な議案 平成27年度緑の募金目標額及び平成27年度事業計画、収支予算

イ 募金活動

学校、職場、企業、団体等において、緑の募金運動を展開し、次のとおり募金収入を獲た。

緑の羽根募金	14,007,323 円
緑化グッズ募金	6,478,400 円
計	20,485,723 円

（募金実績 平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(2) 地域緑化の推進

ア 学園緑化推進事業

緑の募金協力校が実施する小規模な学校緑化（93校）に対し支援した。

イ 指定校緑化事業

緑の募金協力校の中から、神奈川県教育委員会及び神奈川県私学振興課の推薦を得て、学校環境緑化に積極的に取り組む18校を指定し、学校緑化を実施した。

(ア) 公立学校の部（15校）

小学校 川崎市立下作延小学校ほか8校

中学校 川崎市立白鳥中学校ほか3校

高等学校 県立市ヶ尾高等学校ほか1校

(イ) 私立学校の部（3校）

森村学園初等部ほか2校

ウ ふれあい緑化事業

地域住民等が自主的に行う植樹活動への支援及び県民への苗木配布を実施するとともに「緑の募金」及び「かながわのナショナル・トラスト運動」の普及を図った。

(ア) 植 栽 川崎市南河原公園ほか5箇所 386本

(イ) 苗木配布 三浦市初声市民センターほか4箇所 596本

(ウ) 資材購入 横須賀市ほか1市 刈払機 2台

(エ) 地 拵 え 真鶴町 1箇所

エ 森林づくり体験（保全活動）

県立21世紀の森、箱根の小塚山（トラスト緑地）において広く県民募集を行い、森林整備活動を実施した。

（ア）実施日 平成26年7月12日（土）ほか1回

（イ）場 所 南足柄市内山ほか

（ウ）内 容 下刈りなど

（エ）参加者 65名

オ 丹沢の緑を育む集いへの参加

丹沢大山地域において県民参加による森林衰退域への植生回復事業、ボランティアとの協働による大山北尾根周辺での植栽や保全活動、水質調査等を実施している「丹沢の緑を育む集い実行委員会」（構成員 神奈川県、秦野市、清川村、かながわトラストみどり財団等）を支援した。

（3）緑の少年団の育成

森林での体験学習活動、地域での社会奉仕活動、レクリエーション活動等を行う緑の少年団の育成強化と活動支援を実施した。

ア 緑の少年団交流集会の開催

開催日 平成26年8月23日（土）、24日（日）

場 所 小田原市いこいの森キャンプ場ほか

参加者 45名

イ 緑の少年団連絡調整会議

開催日 平成26年5月10日（土）

場 所 プロミティあつぎ

参加者 11名

（4）緑化運動・育樹運動コンクールの開催

緑化運動・育樹運動コンクールを実施し、入賞者を表彰した。

ア 表彰日 平成26年11月9日（日）

イ 会 場 県立地球市民かながわプラザホール

ウ 入賞者等（上位入賞作品は（公社）国土緑化推進機構主催全国コンクールへ出品）

（ア）ポスター原画コンクール（応募点数 532点、入賞点数 51点）

		小学校	中学校	高等学校	合計
応募点数		284	168	80	532
賞 の 選 定 数	最優秀賞	1	1	1	3
	金 賞	5	3	1	9
	銀 賞	6	3	2	11
	銅 賞	6	4	2	12
	佳 作	9	5	2	16
	合 計	27	16	8	51

(イ) 標語コンクール (応募点数 548点、入賞点数 56点)

		小学校	中学校	高等学校	一般	合計
応募点数		257	219	0	72	548
賞の選定数	最優秀賞	1	1	0	1	3
	金賞	3	3	0	1	7
	銀賞	6	4	0	1	11
	銅賞	7	6	0	2	15
	佳作	9	9	0	2	20
	合計	26	23	0	7	56

(ウ) 学校関係緑化コンクール

- a 学校林等活動の部 高等学校
最優秀賞 神奈川県立吉田島総合高等学校
- b 学校環境緑化の部 中学校
金賞 横浜市立蒔田中学校

(エ) 全日本学校関係緑化コンクール

- a 学校林等活動の部 高等学校
農林水産大臣賞(特選) 神奈川県立吉田島総合高等学校
- b 学校環境緑化の部 中学校
国土緑化推進機構理事長賞(準特選) 横浜市立蒔田中学校

エ 平成27年用国土緑化運動・育樹運動コンクール(主催(公社)国土緑化推進機構)

(ア) ポスター原画コンクール

林野庁長官賞(準特選)1名、国土緑化推進機構理事長賞(入選)2名

(イ) 標語コンクール 入選なし

(5) 協力等事業

ア (公社)国土緑化推進機構関係

(公社)国土緑化推進機構の要請により次の業務を実施した。

(ア) 企業の森づくり体験活動事業

企業が行う森林づくり体験活動をサポートするため、具体的な企画、提案を行うとともに、活動フィールドの整備、情報発信、森林インストラクターの派遣などを行った。なお、体験活動の円滑な実施のため、土地所有者等との協定を締結している。

(イ) 公募事業(緑の募金、緑と水のファンド)

国民参加の森林づくり運動を推進するため、森林整備や緑化活動の事業に取り組む団体に対し、公募事業の周知を行った。

(緑の募金公募) 採択 6団体

(緑と水の森林ファンド公募) 採択 4団体

(ウ) 学校環境緑化モデル事業

学校環境の緑化を通じて、青少年環境教育の推進を目的に学校敷地内の緑化や環境教育フィールドの整備を行う学校に対し支援した。

申請 5校、採択 3校(横浜市立深谷台小学校ほか2校)

(エ) 緑の募金推進体制整備交付金

「緑の募金」の推進体制整備、普及啓発・広報及び募金活動の展開についての取組強化等を行うための支援を受けた。

イ (公社) ゴルフ緑化促進会関係

(公社) ゴルフ緑化促進会からの協力金により公共施設等の緑化を実施した。

応募 2 団体、採択 2 団体 (秦野市ほか)

Ⅲ 理事会、評議員会等の開催状況

定款及び関係規程に基づき財団の運営について審議するため、次のとおり会議を開催した。

1 理事会

(1) 第5回定時理事会

開催日 平成26年6月5日(木)

場 所 横浜情報文化センター

主な議案 平成25年度事業報告及び収支決算等

(2) 平成26年度第1回臨時理事会

開催日 平成26年6月20日(金)

場 所 横浜情報文化センター

主な議案 理事長及び専務理事の選定

(3) 第6回定時理事会

開催日 平成27年3月16日(月)

場 所 横浜ワールドポーターズ

主な議案 平成27年度事業計画及び収支予算等

2 評議員会

第3回定時評議会

開催日 平成26年6月20日(金)

場 所 横浜情報文化センター

主な議案 評議員、理事の選任並びに平成25年度収支決算

3 緑の募金運営協議会

(1) 第6回緑の募金運営協議会[再掲]

開催日 平成26年5月13日(火)

場 所 波止場会館

(2) 第7回緑の募金運営協議会[再掲]

開催日 平成27年2月27日(金)

場 所 波止場会館

4 地区推進協議会会長会議

開催日 平成26年10月9日(木)

場 所 横浜情報文化センター

主な議案 地区推進協議会事業、会員拡大及び緑の募金の推進

事業報告の附属明細書について

公益財団法人かながわトラストみどり財団定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成していません。

平成27年6月

公益財団法人かながわトラストみどり財団